

# 二松學舍 東京支部報

二松學舍  
東京支部



## 二松學舍の魂

支部長 矢澤 喜成 (50期)

東京都支部会員の皆様、  
明けましておめでとうござ  
います。

昨年は、八月三十日の東  
京都支部総会・講演会・懇  
親会並びに十月二十五日の  
文学・歴史散歩に多数の御  
参加を戴き、深く感謝申し  
上げます。

大学九段校舎に場所を戻  
しての講演会では、佐藤晋  
新学長に御登壇戴き、楽し

くも今後の為になる国際政  
治外交の御話を伺う事が出  
来ました。

また、文學・歴史散歩に  
は、本学の卒業生でもい  
らっしゃる五井信教授を御  
招きし、大学での講義の  
後、新宿二、三丁目やゴー  
ルデン街を巡るという新趣  
向で、雨の中乍ら懇親会迄  
盛り上りました。

扱、先日、矢澤は、平野

輩の書斎で、漢籍や稀覯本  
等、先輩の蔵書を拝見させ  
て戴きました。私淑する鈴  
木先輩は、矢澤と同じく中  
國の古小説が御専門で、そ  
こでは「二松學舎の魂」を  
感じ取る事が出来ました。

この魂を受け継ぐ者とし  
て、本年もこの東京支部を  
盛り立ててゆきたいと存じ  
ます。皆様、御協力の程、  
宜しく御願い致します。

## 豊かさを見つめて生きる

顧問 井上 和男 (42文)



私の少年時代は海とともに  
に在ったと言つても過言で  
はない。春になれば山へ  
行つて「いたどり」や「た  
けのこ」を探り、海岸に行つ  
て「あさり」や「あおさ」  
を採取して魚釣りを楽しん  
だ。魚の餌となるゴカイを  
取り、約二メートルの竹を  
切り、枝を落とした竿にテ  
グスと釣り針をつけただけ  
の簡素な仕掛けであつたが、

魚は面白いように釣れた。  
また、夏が来ると友達と  
海水浴を楽しんだ。泳ぐこ  
とはあまりせず、岩の間に  
居る二枚貝や「さざえ」に  
しにななど採取しながら  
遊んだ。

それから四十年後、私は  
久し振りに郷里に帰り、海  
に入つて驚いた。海岸線は  
埋め立てられ、岩肌に群生  
していた「あおさ」や「カキ」  
めない。



## 新春を寿ぎ 心よりお慶び申し上げます

東京支部役員一同



顧問 井上 和男 (42文)

副支部長 星野 優子 (42文)

支部長 矢澤 喜成 (50文)

相談役 菅根 順之 (24文)

大山由美子 (47文)

幹事長 片山 聖英 (50文)

監事 大渕 俊明 (50文)

監事 神本 一喜 (85文)

事務局長 中原 敬二 (62文)

常任幹事 畠山 幸治 (37文)

監事 家永 修 (44文)

監事 齋藤 祐一 (51文)

監事 高柳 幸雄 (49文)

監事 野口 明宏 (51文)

監事 高橋 映子 (53文)

監事 菅原 義博 (53文)

監事 平井 順 (75文)

監事 室伏麻里子 (76文)

監事 荒屋 矢田 祐樹 (84文)

監事 陽子 (85文)



参加者集合写真

猛暑、酷暑が続いた八月も終わりの三千日（土、今年度の支部総会が本学に所を戻し、一号館二〇一教室で開催された。出席数二十七名。来賓として松菴会から平野会長、河野千葉県支部長、網野神奈川県支部事務局長が大学からは佐藤学長に陪席いただいた。司会は片山幹事長、議長は野口常任幹事が推挙され議事進行役員改選期にあたり、支部規約に則つて支部長以下、役員・新役員が承認された（一面参照）。前年度会計報告、監査報告に続き今年度の活動案、予算案が示され、すべて承認。野

口議長の快活で活舌良い進行により、滞りなく進み、三十分ほどで閉会となつた。松菴会本部、隣県支部、本学との連携・交流が今後も盛んに行われるよう願う

一方、目前の課題は支部会員数をいかに増やしていくか、を再認識させられた。世代を超えた同窓の場の楽しさを未知未見の方々にお伝えしたいものだ。

その後、会場を二〇二教室に移し、記念講演が行われた。渡辺和則第十一代学長による口上の後、講師として登壇されたのは佐藤晋現学長。「日本外交の現状と課題」を演目に入混度を増す世界情勢と日本の今について、「核保有・核抑止」「国防費」「感情論」「陰謀論」をキーワードに図表、データを用いてお話ししてください。

求めれば容易く、あらゆ

## 令和7年度東京支部総会 常任幹事 高橋 映子（53文）（記念講演会・懇親会）

高橋 映子（53文）  
（記念講演会・懇親会）



佐藤晋学長



総会の様子

### 懇親会

い（笑）。

家永修氏の司会でしめやかに開催されました。

佐藤晋学長が最後までお付き合いくださつたのに付き合いくださつたのに頭が下がりました。ときどき中原事務局長に対して愛情溢れるやりとりを聞いていると親しみや

すい方だなあとつくづく感じました。元学長の渡辺先生からの紹介ではとても優秀な方だと説明がありました。中原事務局長から、全然偉ぶらないし、ざつくばらんな本音をたくさんお伺いできました。

千葉県の河野支部長がお礼の挨拶をされ、家永氏が参加者全員に近況報告を振られて、参加者全員のお話を聞くことができました。松菴会には元教員の方が多く、興味深い話をたくさん聞けました。しかし、皆さん話始めるとなかなか止まらなくなりました。

時間いつぱいまで参加者全員のお話を伺い、金井康氏の一本絞めで幕を下ろしました。（野口）

シヤツの袖をまくりあげ

て語る佐藤学長の姿に心は学生時代に戻り、学び思考する貴重な機会となつた。

（高橋）

## 信頼の絆を結ぶ会 常任幹事 家永 修（44文）

千葉支部長の河野千津子氏より鄭重なる総会・講演会のご案内を頂き、千葉支部の会に参加しました。

講演会は元NHKの朽見行雄氏による「和紙と日本文化」という題で、とても興味深いものでした。懇親会では一気に打ち解けたのです。同じことが各支部の会にもあります。以前からの盟友知友の絆を強く感じるのです。



## 特集

昭和一〇〇年—戦後八〇年—  
〈区切りの年にあたり、思いを〉

## 永久平和を願う

常任幹事 高柳幸雄 (49文)

の日があり、みんなで喜んだ覚えがあります。

昭和40年代までは、まだ戦前の教えが残つていました。私の小学生時代、教室で先生の話を聞かずに隣の子に話しかけたり、ちよつ

かいを出したりする子がいました。先生の何度もかの注意の後、教室の後ろに立たされました。さらにふざけて、廊下に出されるという始末でした。漫画のサザエさんに出てくるカツオのようでした。

小学1年生から給食があり、6年生が配膳を手伝つてくれて、毎日美味しく食事をとりました。3年生まで給食に脱脂粉乳がありました。アメリカから日本の子供の栄養補給のため、学校給食に提供され、昭和40年1月まで続きました。脱脂粉乳を飲んだ経験はありますか。冷めた脱脂粉乳は私も苦手でした。また、現在の学校給食にご飯の日があることをご存知ですか。当時は毎日食パンでした。たまに揚げパンやソフト麺

中、中学生は学校単位で軍需工場や飛行場等に動員され、小学生は疎開したそうです。食料不足で満足な食事をとることができなかつたとのことです。戦後も食糧難は続きますが、国民は必死に働き、高度成長をもたらします。ついに復興を成し遂げ、その後、日本は世界第2位の経済大国にまでになりました。お陰で国民の生活水準は上がり、安定した収入を得られるようになります。アミリーレストランが流行り出し、家族で外食する機会が増えました。日本の食は豊かになり、飽食の時代を迎えました。それは平和な時代が長く続いているからに他なりません。今、海外から多くの人々が来日し、各地で安心して日本の食事を楽しんでいます。

「日本国憲法」の「前文」に「われらとわかれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないようにしてること」とあります。戦後八十年、平和が維持されてきました。美味しい食事がとれるよう今後も平和であることを願います。



## 昭和レトロに魅せられて

監事 大渕 俊明 (50文)

最近「昭和一〇〇年」というトピックで「昭和」の時代の移り変わりを振り返ろうという取り組みがなされています。昭和元年からの一〇〇年間、戦争やバブル景気の発生と終了、新型コロナウイルス感染症など、様々な出来事によって非常に変化の大きな時代であったと思われます。現在はデジタル化が進み、利便性や効率性が重視される社会になつていて

と感じます。

私が生きた「昭和」は中期から後期の三〇

年余りですが、その後平成・令和と母校「二

松学舎」で過ごしてまいりました。学生時

代、職員として「昭和レトロ」と呼んでも差

し支えのないアナログで温もりのある「昭

和」の母校「二松学舎」を振り返つてみまし

た。私が入学した昭和五十三年は、前年(昭

和五十二年)の『二松学舎創立百周年』記念

事業として様々な変化があつたと後日先輩諸

氏から伺いました。その一つが第一記念館

クラブ棟の新築です。第一記念館は、地下1

階地上5階建てで図書館・武道場・体育館等

が配置されました。入学試験時には工事幕

に覆われていたため大学校舎の確認に迷つた

と同期生から聞きました。また、入学式・卒

業式とも九段会館で行われることになつたの

が、本館は正しく「昭和レトロ」で黒板と

母校は発展を続けます。平成十六年に現在の1号館・

2号館が完成し、その後、5号館まで開設されまし

た。更に、令和において6号館の開設が予定されています。

和室は和室(書道室)・L字教室だけと記憶して

います。狭いながらも四年間を同一キャン

パスで先輩・同期・後輩と過ごせたことは幸せ

だつたと感じています。昭和五十七年卒業、母校に職員として奉職致しましたが、同年柏(当時は沼南)キャンパスが開設されます。ここから、九段・柏の2キャンパスが始まりました。後の九段集約まで2キャンパスが継続されました。



昭和以降、平成・令和と母校は発展を続けます。平成十六年に現在の1号館・2号館が完成し、その後、5号館まで開設されました。更に、令和において6号館の開設が予定されています。和室(書道室)・L字教室だけと記憶しています。狭いながらも四年間を同一キャンパスで先輩・同期・後輩と過ごせたことは幸せ

を祈念いたします。

## 「運命」を背負つた校歌

## 校歌 常任幹事 齋藤祐一 (51文)

の冒頭である。昭和一〇〇年の、ちょうど半分が過ぎた年にヒットしたこの曲は、ショパンのピアノ協奏曲第1番のメロディーによく似ている。

というように、世のなかには、クラシック音楽を思起させれるような歌が少なからず存在する。これまでもあまり言及されてこなかつたように思うのだが、二松学舎の校歌にも、うすうすそんなことを感じている。

来年（令和八年）、創立一〇〇年を迎えるN H K 交響楽団（N響）は、早くからドイツ系の指揮者を招いてきた。そのため、ドイツ・オーストリア音楽得意としている。同じく来年、没後二〇〇年を迎えるベートーヴェンの楽曲も、看板レパートリーの一つである。昭和一〇〇年という時の流れのなかで、この希代の作曲家は、「楽聖」とし

さて、この「樂聖」の代表作の一つに、交響曲第5番がある。実は、二松学舎の校歌が、その第2樂章の第2主題によく似ているのである。冒頭の主旋律のみを示すと、①のようになる。原曲は3／8拍子であるが、校歌と比較しやすいよう、4／4拍子に書き換えてある。②が二松学舎の校歌の冒頭である。

このように、出だしの3拍がリズム、音程とともに全く同じであり、演奏のテンポもほぼ同一と言つてよい。主和音の音を中心にくらべると、二松学舎の校歌は、第2樂章で五回繰り返される。とりわけ、ささやくような木管群に続き、金管群が奏てるフレーズは、ファンファーレ風の莊重な響きをもつ。両曲に共通するのは冒頭部分のみながら、第2主題の曲想は、校歌全体の基調を成していくような印象を受ける。



「作曲委託関係書」が、明治四〇年のものから保管されている。同年には、滋賀県立商業学校などの三校が、その翌年には、京華中の二校が依頼

ところで、二松学舎の校歌が制定されたのは、昭和一八年のことである。作詞は、岡山の落合高等女学校の教師新田貫一（第五回卒）によるもので、校歌制定委員会による補正が加えられている。作曲は、東京音楽学校とされているが、具体的な作曲者は不明である。戦後、新制大学への移行に伴い、現在の歌詞へと改訂されたものの、曲はそのまま受け継がれている。

明治の終わりごろから、全国の学校では、校歌の作曲を東京音楽学校へ委託するようになった。東京芸大の大学史料室には、「作曲委託

いぢれにせよ、昭和一〇〇年を迎へ、**「世界の光」として「東洋の学」**が継承され、「日ごと寒さがつのることのないようないまの「平和の御國」が続くなか、「運命」を背負つた校歌は、これからも永く歌い継がれてゆくことであろう。

日独伊同盟が結ばれ、戦局が厳しさを増すなか、ドイツ音楽の王道たるベートーヴェンの第5番「運命」から着想を得て、おそらく彼らのうちの誰かが、二松学舎の校歌を作曲したのである。

昭和一八年當時、同校では、信時潔、橋本国彦、平井保喜、細川碧などの教師である。とりわけ信時と平井は、多くの校歌を作曲している。

しており、助教授の楠美園三郎らが作曲をおこなつてゐる。同校が昭和二四年までに作曲した校歌などは、同関係書によると、およそ八〇〇曲にも及ぶ。ただ残念ながら、二松学舎からの委託書類は、残されていないうだ。

化的流入に匹敵するだろう。つまり「日本美が滅びゆくプロセス」が再生産されるのだ。昭和一〇〇年とは、A Iにより多くのモノコトが代替されていく過程のなかで日本美を再発見すると同時に、またそれが滅んでゆくプロセスを眺める、そのような視座となる。

れた。作中では蒔岡四姉妹が帶や襦袢・羽織などを丁寧に選ぶように、柄そのものより「選ぶ手間」という生活様式に結びついた美が描かれる。ただ、その儀式的な美意識は現代にも残り、朝のルーティン動画で家事や服選びを楽しむ姿に受け継がれている。しかし洗濯や服選びをAI洗濯機が代替し、体調データや気候データから最適な服を用意する未来も近い。AIによる価値観の転換は当時の西洋文

## 昭和一〇〇年と『細雪』

## 二松学舎と「昭和時代」

常任幹事 菅原 義博（53文）

りゆく濃い時代であつた。そんな高度成長期の象徴が一九七〇年の大阪万博だつた。当時小学校低学年だつた私は行きたくても行けず、悔しい思いをしたのを覚えている。その万博が、偶然にも昭和一〇〇年を迎えた昨年に再び大阪で開催され、二松学舎も漱石アンドロイドを出展するという形で協賛することになつた。各種メディアでも取り上げられたが、こうした昭和一〇〇年の記念すべきイ

形造つていくための変化は、ちょうど「昭和」とともに始まつたのである。

そして、一〇〇年。来年二〇二七年に一松学舎は創立一五〇周年を迎える。すでに学内では、これに向けた準備が始まつてゐる。次の一〇〇年にはどんな未来が待つてゐるのだろうか。



先日、知人が子供から「お母さんって、『昭和時代』生まれなの?」と言われたという話を聞いた。昭和に「時代」をつけると、やけに遠い昔に感じる。今の子供達は、我々が「江戸時代」、「明治時代」、「大正時代」と呼ぶ感覚で、「昭和時代」と呼んでいるのだなあと、妙に感心してしまった。それだけ昭和は昔になつてしまつたのかもしれない。昭和は「激動」というワードで語られことが多い。たしかに戦争があり、焼跡からの復興、高度成長へと移

ペントに二松学舎が関わることはできたのは、卒業生・関係者の一人として、非常に誇らしい出来事であった。

# 時の流れと女性総理大臣誕生

常任幹事 平井 領（75文）

一九四五年七月、トルーマン、チャーチル、スター  
リンがポツダムで会談し、日本の降伏を求めるポツダム宣言を発表した。日本がこれを黙殺する一方、アメリカは八月六日広島に、九月に長崎に原子爆弾を投下した。同時にソ連はヤルタ協定にもとづき、日ソ中立条約を無視して、八月八日に日本に宣戦し、侵攻した。

八月一四日、日本はポツダム宣言を受諾して無条件降伏し、一五日に天皇の玉音放送により国民にも明ら

かにした。こうして数千万人が命を落とし、多数の難民と孤児をもたらした、史上最大の戦争は終わりを告げた。歴史上、数多くの戦争があつたが、この第二次世界大戦は、異なる政治・社会体間の優劣を競つたこと、アジア、太平洋地域が主戦場の一つになつたことなどが、特徴として挙げられる。

そして、核戦争の脅威を戦後の世界にもたらすこととなつた。その一方で、民主主義の拡大や両性の同権化も大戦後に多くの地域で

## 次世代に伝えるべきもの

常任幹事 荒屋 陽子（85文）

昨年度、私は高校二年生の担任として修学旅行の引率をした。私の勤務校の修学旅行は一月の終わりの沖縄である。私が知る戦争は、「火垂るの墓」「硫黄島からの手紙」などといった映画や、社会科の教科書・資料集、テレビのニュースで流れられたイラク戦争やウクライナ戦争などであり、身近なものとして受け止める機会

があまりなかつた。  
だから、昨年度は生徒と一緒に学び、貴重な体験となつた。ルートは定番のひめゆりの塔、平和記念公園、旧海軍司令部壕、首里城、美ら海水族館。私の一番印象に残つたものは、旧海軍司令部壕とその近くにある糸数壕だ。沖縄の方言で「ガマ」と呼ばれる天然の洞窟で、避難壕や野戦病

院として使われたものである。実際に入ってみると、空気が生暖かく、自然光の入りにくい真っ暗な洞窟で、奥まで広がる穴はどこまでも続く深い闇のように思えた。命の危機がない現代ではら不安感を覚える空間に、当時の人々の恐怖はどれほどだつただろうと感じた場所であつた。

イギリス初の女性首相の故マーガレット・サッチャード氏の名言である、『リーダーは好かれなくてもよい。しかし、尊敬されなくてはならない』を目標にする日本の「鉄の女」に世界の注目も集まっている。戦後八〇年昭和一〇〇年から年が明け、創立一五〇年へのカウントダウンが始まる我が学び舎二松學舎。柏と九段下の唐揚げカレーの味を懐かしみながら、またあらたな歴史を刮目せよ！ アプリコットサークル最高！

## 近代日本創設記①～明治天皇～

幹事長 片山 聖英 (50文)

近代日本を創設するためを中心に据えられたのが、「天皇」という存在である。明治・大正・昭和天皇といふ三代に渡つて「誇るべき日本人の理想像」としての天皇の姿が固定されいく。それを辿つてみたい。応仁の乱以降、京都は静まる間がなかつた。弘治三年（一五五七）年十月二十七日に第一〇六代正親町天皇が践祚（即位）である。

織田信長を初め戦国大名たちは天皇を敬う立場をとつてゐる。豊臣秀吉は天皇家と親密な関係をつくりたくて動くが全く認められていない。その後、徳川家康が天下をとると、逆に天皇家より征夷大将軍に任せられている。そして秀忠、家光の時代となり、彼らは後水尾天皇の出家後のための修学院離宮の造営の費用を出していふ。同じ頃、家光によつて日光東照宮が造営中であつたので、財力による権威の平衡を保とうとする動きであつたと分かる。



第122代明治天皇

そして孝明天皇が十六歳で践祚して間もなく、アメリカのペリー提督やロシアの使節プチャーチンなどが来航、激しい勢いで開国を迫つてゐた。まさに太平の眠りを覚ます蒸気船に翻弄される事態となつてゐた。

幕藩体制は弱体化し、崩壊寸前であつた。十四代将军家茂に皇女和宮の降嫁が進められていく。和宮は書簡に「天皇のそばを離れたくない」という心情を訴えたが、天皇家としての苦衷を察して降嫁している。

その後、孝明天皇は慶応二（一八六六）年十二月の内侍所での神樂に出席して風邪をこじらせてゐる。二週間後、三十六歳で亡くなつてゐる。『中山日記』には「九穴より出血」と悲惨な臨終の様子が記されている。

この後、十一代に渡り皇位が継承されていくが、公家諸法度などにより、天皇家の地位は低いところに置かれていた。

そして幕末を生きたのが第一二〇代仁孝天皇と第一一二代孝明天皇である。仁孝天皇は幕末の情報を収集して学ぶために公卿の子弟のための教育機関として学習所を建ててゐる。

この機関が後の「学習院」である。

そして孝明天皇が十六歳で天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

それまでの天皇は殆ど京都から出ることなく、一生天涯を経てゐる。しかし明治天皇は違つてゐた。明治元年（一八六八）となる年に大阪の天保山から初めて海を見て感動してゐる。

この後、誇るべき天皇を創り上げるべく公務時間が午前十時から午後四時までと取り決められ、学びとして教育係（侍講）が置かれたのだった。

この激動の時代に十四歳で天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

それまでの天皇は殆ど京都から出ることなく、一生天涯を経てゐる。しかし明治天皇は違つていた。明治元年（一八六八）となる年に大阪の天保山から初めて海を見て感動してゐる。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

この研究書などを学ぶことを通して、明治天皇は天皇としての自信を得るものとなつてゐた。それが紀元節や皇紀二六〇〇年に繋がるのであつたようだ。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。

新時代を迎へ、それまでに天皇になるのが明治天皇であつた。この継承劇に何か妙な力が働いたように感じてしまうのであつた。



昭憲皇后

この研究書などを学ぶことを通して、明治天皇は天皇としての自信を得るものとなつてゐた。それが紀元節や皇紀二六〇〇年に繋がるのであつた。

また後に東大総長となる加藤弘之によつてドイツ政治学が学ばれてゐる。そこには補佐役の西郷隆盛の発案によつて漢学が学ばれ、西郷亡き後、「教育勅語」の発布に続くものとなるのだった。ところが、昭憲皇后は子宝に恵まれなかつた。側室により、明治天皇は十五人の子どもを設ける。しかし殆どが幼少で亡くなり、女子四人と男子一人のみが生存という状況であつた。この男子一人が大正天皇となるのである。（次回に続く）

## 東京支部事務局から 事務局長 中原敬二 (62文)

令和六年十二月から令和七年十一月までに年会費を納入していただいた方は次のとおりです。  
感謝申し上げます。

中原 敬二 (62文)  
田中 楠山 金井 大渕  
(39文) (85文) (41文)

◆会費納入のお願い◆  
年会費二千円 終身会費一万円 (七十歳以上)  
◎振込先 ゆうちょ銀行普通口座  
(ニシヨウガクシャショウレイカイトウキヨウシブ)  
記号一〇一七〇 番号四五八六九一一  
今年度から支部報は年一回の発行になりました。松菴会東京支部では、会員の皆様からの情報を募集しています。伝えたい事や支部活動の感想など、何でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。  
連絡先 k-nakaha@nishogakusha-uac.jp (事務局長中原)

## 2024年度 二松學舍松菴会東京支部会計報告

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位 円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	差異	科目	予算
会費	70,000	80,000	10,000	会報費	100,000
支部運営助成費	250,000	319,868	69,868	通信運搬費	200,000
雑収入		31,644	31,644	会議費	0
				総会補助費	30,000
				振込手数料	7,000
				活動補助費	90,000
				交通費	20,000
				交際費	40,000
				慶弔費	20,000
				消耗品費	10,000
				予備費	10,000
小計	320,000	431,512	111,512	小計	527,000
前年度繰越金	564,012	564,012	0	翌年度繰越金	357,042
合計	884,012	995,524	111,512	合計	884,042
					995,524
					△ 111,482

雑収入：他支部からの祝金、預金利子

金銭出納帳等を監査した結果、上記の会計報告に相違ないことを報告します。

2025年8月30日 監事 大渕俊明

## 会計報告

## 2025年度 二松學舍松菴会東京支部予算

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

(単位 円)

収入の部		支出の部			
科目	予算	備考	科目	予算	備考
会費	80,000		会報費	60,000	支部報作成費
支部運営助成費	250,000	松菴会本部より	通信運搬費	120,000	会員への郵送料等
			会議費	0	役員会開催にかかる費用
			総会補助費	30,000	総会にかかる費用
			振込手数料	7,000	郵便振替他
			活動補助費	50,000	講演会謝礼文学散歩経費等
			交通費	20,000	役員交通費
			交際費	40,000	他支部祝金等
			慶弔費	20,000	
			消耗品費	10,000	宛名ラベル・文房具等
			予備費	10,000	
小計	330,000		小計	367,000	
前年度繰越金	598,351		翌年度繰越金	561,351	
合計	928,351		合計	928,351	

## 予算案

昭和一〇〇年、戦後八年といいう区切りの年にあり、皆さんに思いを綴つてもらいました。

皆さんの原稿は幅広い視点で書かれてはいるのですが、そこに底流しているのは「戦争否定」「平和希求」「豊かさの本質」などを考えようとするものであることに気づくのです。

「あの戦争さえなかつたら」と悔恨の情を訴える連續ドラマがあり、戦争というものの理不尽さに憤らざるを得ないのでした。

今も戦争している国があり、一方的に権力者たちの欲望を通してするためにだけなされています。先に区切りの年と書きましたが、区切りを確認することは、これから我々の在り方や行うべきことを確認することです。他者を理解することは本来、違います。その意味が地球上に行き渡る年となるよう願っています。

◆発行 ◆  
二松學舍松菴会  
東京支部 事務局 (中原)  
電話 090-7941-5116

## 編集後記